

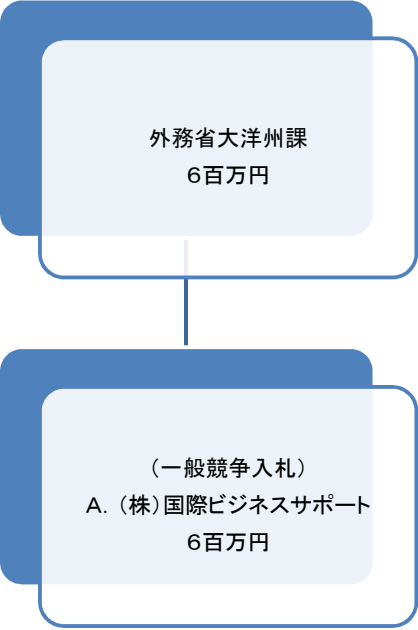
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日本・PIF未来創造高校生交流プログラム	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度開始・平成22年度終了	担当課室	大洋州課	課長 飯田 慎一				
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第42条	関係する計画、通知等	第5回太平洋・島サミットにおいて採択された首脳宣言「北海道アイランダーズ宣言」(平成21年5月)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本件は、次世代のリーダーとなる太平洋島嶼国・地域(12か国2地域)から1、2か国を選定し、高校生を我が国へ招へいする。本交流プログラムをとおり、我が国の文化に触れたり、我が国と島嶼国・地域が抱える共通の課題等について学んだりする機会を得ることで、太平洋の隣人として未来に向けた友情の絆を強めることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	太平洋島嶼国・地域から高校生及び引率者(10名程度)を我が国に10日間程招へいする。日本滞在中のプログラムは、東京と地方で構成される。都内プログラムには、日本の歴史、文化、社会等についての講義や文化施設等の見学、外務省訪問が含まれる。また、地方プログラムでは、受け入れ地方自治体の協力を得て、高校訪問、同高校生との交流(授業、部活、国紹介等)やホームステイを行う。今までに、113名を招へいた実績がある(平成18年度までは、我が国の高校生を島嶼国に派遣していた(派遣実績74名))。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	6	4	8	—	—	
	執行額		3	0	6	—	—	
	執行率(%)		50%	0%	75%	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	日本と太平洋島嶼国・地域の若い世代の相互理解と交流の促進を図り、相互の歴史認識を深め、未来に向けて友情の絆を強める。(招へい人数)		成果実績	名	5	0	13	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	招へい回数		活動実績 (当初見込み)	回/年	1	0	1	—
単位当たりコスト	0. 5百万円/1名		算出根拠	6百万円/13名				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件の実施現場の状況を把握するために、被招へい者に対して事後アンケートを行い感想・成果を聴取するとともに、委嘱契約業者から事後報告書を提出せしめている。 また、帰国後は、我が方の在外公館が被招へい者の高校へ学校訪問(所謂スクールビジット)を行ったり、国費留学生制度等の広報を行ったり、招へいの効果を最大限に活かせるようなフォローアップに努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
招へいスキームを統廃合した結果、高校生を招へいするスキームは廃止した			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交通費	国際航空賃、国内移動費	4			
	滞在費	宿泊費、食費	1			
	人件費	エスコート費、ホームステイ謝礼	1			
	計		6	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際ビジネスサポート	招へい事業委託	6	3	74%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					